

陸上自衛官がキャンプのノウハウをレクチャー 広報室がラジオ番組に出演



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は6月11日（金）と12日（土）の二日間にわたり、糸魚川市内の不動滝キャンプ場においてBSN新潟放送のラジオ番組「レイドバックライフ」の収録を支援しました。

この番組は、県内各地のキャンプ場において実際にキャンプを行いながらラジオ収録し、リスナーにアウトドア活動全般の魅力と併せて地域の情報も発信することを目的とし、再放送を含め月2回県内全域において放送されています。

今回、番組の司会でタレントのSWAMP（スワンプ）氏と音楽活動において共演しているジプシージャズバンドのメンバーである広報室（室長 1陸尉 鈴木勝太）の山田3陸曹と同バンドリーダーの妙延寺（新潟市中央区）副住職・三間洸宇氏がゲストとして出演した。自衛官と僧侶という珍しい組み合わせから、それぞれの職業を活かしたトークを行うこととなりました。

収録において山田3陸曹は音や光を極力出さないなど隠密性を重視する自衛隊の訓練における「野営」と一般的なキャンプの違いを説明。その他にもテントの設営時の注意点や、野外における熱中症対策等の健康管理の重要性に触れるなど話題は多岐にわたり、司会者から「訓練中に熊に遭遇したらどうするのか」といった質問も出るなど、コミカルな場面も挟みながら終始和やかなトークが進みました。



その後僧侶の三間氏による瞑想（マインドフルネス）講座を全長20mの滝の前で行い、夜は焚き火を囲んでジャズを演奏するなど、同番組としては過去に類を見ない内容となりました。

収録終了後、司会者から「自衛官をゲストとして初めて招いたが、自衛隊ならではのエピソードが面白く、親しみが湧いた。自衛官の野外訓練の経験談はキャンプにおける安全管理にも繋がるので、とても参考になった」といった声を聞くことができた他、同局の企画する防災イベントへの参加を依頼されるなど、今後の一般広報に追い風となる有意義な広報活動となりました。

新潟地本は今後も各メディアを積極的に活用し、地域住民の皆様に自衛隊をより知っていただくとともに、親近感を醸成する一般広報を続けていきます。

